

## ゼロ・エミッションを目指したシナジーの創造

## 株式会社八幡



点群データパーパス

## (1) 会社概要

社名	株式会社八幡
本社所在地	栃木県宇都宮市平出工業団地 45-2
創業	昭和 21 年 3 月 1 日
資本金	4,400 万
代表者	代表取締役 菊池 清二
取得許可	《生コンクリート》大臣認定高強度コンクリート MCON - 3565 J I S 表示製品認証 認証番号 T C 0307422 《産業廃棄物処分業》栃木県許可番号 0900024673 (収集・運搬) 宇都宮市許可番号 8400024673 (収集・運搬) 宇都宮市許可番号 8420024673 (中間処理 / 破碎) 《一般廃棄物処分業》宇都宮市許可番号 第 197 (処分) 《I S O 取得》I S O 14001 環境マネジメントシステム認証取得
主要所属団体	(社) 栃木県産業廃棄物協会ほか
事業内容	生コンクリートの製造販売 防草資材 / ノン雑草の販売 産業廃棄物の中間処理、収集運搬 (破碎・圧出梱包・選別) ①木くず②廃プラスチック③ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず (石膏ボード除く) ④がれき類⑤紙くず⑥繊維くず⑦金属くず⑧ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず (石膏ボードに限る) ①~⑧の建設系混合廃棄物

**(2) 会社沿革**

昭和20年12月	コンクリート二次製品の製造販売業として八幡工務所を創業。
昭和22年 7月	八幡工務所が株式会社に組織変更。
昭和43年 8月	八幡に生コンプラント 1,500 リットル強制攪拌新設。資本金 3 千 8 百万円に増資。
昭和45年 2月	八幡がレディミクストコン（J I S A 5308）J I S 表示許可工場の認可受ける。
昭和45年 2月	八幡が道路用コンクリート製品，下水道用マンホール側塊 J I S 表示認可。
昭和52年 5月	生コンコンピューター・コントロール式デジタルニ軸強制ミキサー新設。
昭和61年 7月	栃木県木材リサイクルセンター新設、産廃の中間処理及び収集運搬事業開始。
平成元年 9月	八幡工務所から株式会社八幡に社名変更。
平成16年 1月	八幡で生コンクリート製造販売課程の I S O 9001 を取得。
平成21年 9月	八幡が環境マネジメントシステム I S O 14001 認証取得。
平成26年 3月	中間処理施設新設、産業廃棄物の中間処理事業開始
平成27年 9月	生コンプラント（CP15F28Q1E20L9CDUNN） 2 軸強制練ミキサジクロス北川鉄工所（C P - 3004）新設

**1. 株式会社八幡について**

株式会社八幡は菊地グループの一員として昭和21年に創業しました。グループコンセプトを「ECO-LIFE 生活環境整備事業環境共生都市づくり」と設定し、資材から建設、住環境、メンテナンス、処理再生まで一貫通貫して地域社会と循環型社会に対応できる人と環境にやさしい企業を目指しています。

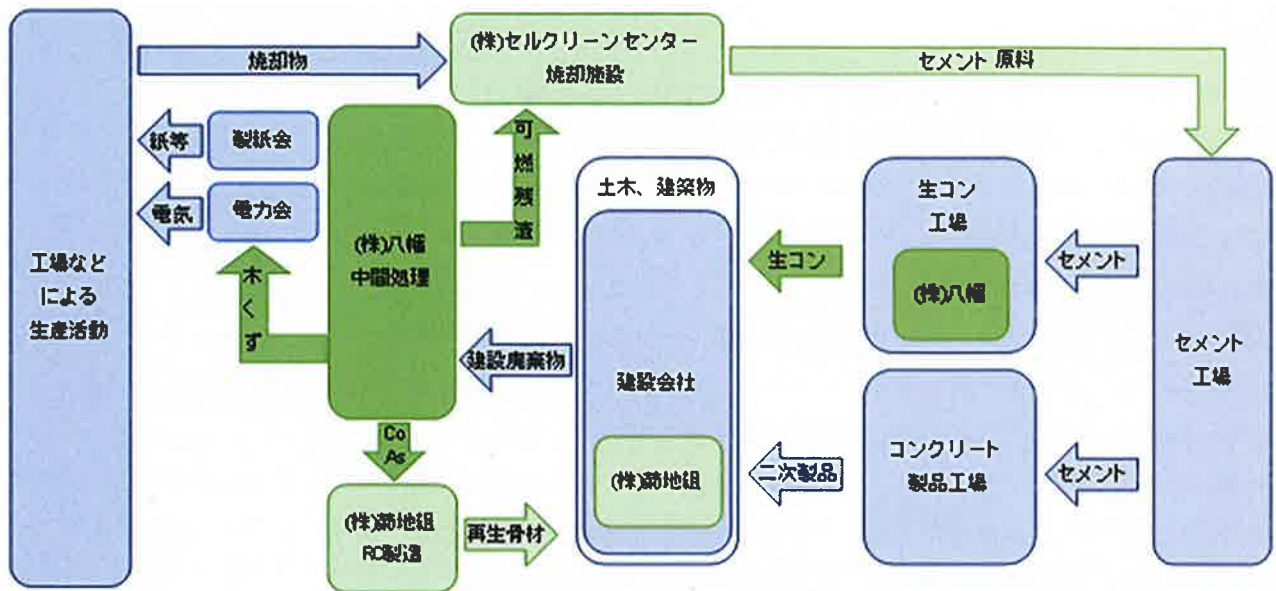
弊社の中間処理施設は、北関東自動車道宇都宮上三川インターより約15分の平出工業団地内に建設され、お客様のニーズにお応えするため、『再資源化』『ゼロ・エミッション』に限りなく近づける事を目指し、技術力を活かした様々な取り組みを行っております。

**2. ゼロ・エミッションに近づけるために**

ゼロ・エミッションとは、「ある産業から出た廃棄物を別の産業が再利用することで最終的に埋立処分する廃棄物の量をゼロに近づける」という考え方であり、当グループでは循環型社会の形成に寄与すべく、ごみを減らし環境への負荷を小さくするために日夜努力をしています。

株式会社八幡に持ち込まれた産業廃棄物は中間処理された後に、可燃残渣についてはグループ会社であるセルクリーンセンターにて焼却処理されます。焼却残渣の一部が生コンの原料であるセメント原料となり、弊社で製造される生コンが土木・建築現場で使用されます。また、選別されたがれき類は当グループ企業の菊地組で再生骨材に生まれ変わり、土木・建設現場で再利用されます。木くずは製紙会社や電力会社に供給され、それらの企業で製造/発電されたもので生産活動が行われます。

このように当グループではグループ内では留まらず、お取引様を含めて大きなシナジーを創出出来るよう日々活動することにより循環型社会の実現を目指しております。



KIKUCHIグループのリサイクルフロー

### 3. 環境保全のための取り組み

選別技術の向上に努めるだけでなく、周辺環境への配慮のために建屋内で作業を行うとともに噴霧器を設置し粉塵を抑えています。



粉じんミスト



手選別作業

作業時に発生する砂ホコリについては一般的には天井からのシャワーで抑えますが、弊社ではミストを使用することにより高い吸着効果を出すと同時に使用する水量も削減でき、工場内のクリーン化といった従業員の働く環境の改善にも取り組んでおります。

さらに作業員の安全面も徹底しており、ヘルメット・手袋・マスクの着用を義務づけています。安心して分別作業に取り組める環境を作ることは作業員の怪我を防ぎ健康を守るだけではなく、より正確な分別を継続的に行うことが可能になります。



#### 4. 地域に根差した環境保護の取り組み ～きれいな環境はきれいな心から～

毎年夏に鬼怒川グリーンカップ・鬼怒川クリーン大作戦を主催し、多くの子供たちと共に、スポーツの振興及び河川清掃による環境美化を進めています。 サッカートーナメントと併せて清掃活動を行い、子どもたちにルールやマナーを守ることの重要性と環境保全の大切さを伝えています。



鬼怒川クリーン大作戦

#### 5. まとめ

弊社では建設関連事業及び産業廃棄物中間処理業を通じて地域に根ざした企業活動を行いながら地球環境の保全に積極的に取り組み、弊社並びにグループ会社だけで留まらず、様々な企業様と共に大きなシナジーを創出し、豊かな自然と住みやすい社会の創造に努めております。

環境維持や清掃事業及び環境景観事業等に力を注ぎながら、地域の環境イベントやボランティア活動にも積極的に参加推進して、少しでも地域に貢献できる企業を目指して、尚一層の努力をして行く所存です。